The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

| | |
|---|---|
| Title | a+a 美学研究　第12号　奥付 |
| Author(s) | |
| Citation | a+a 美学研究. 2018, 12 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/90125 |
| rights | |
| Note | |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

査読について

本号に収録された論文のうち、石田圭子、海老根剛、柿木伸之、梶原将志各氏の論文は、2017年9月11日に大阪大学中之島センターで開催されたシンポジウム「シアトロクラシー——観客の美学と政治学」における口頭発表に基づく。本号への寄稿にさいしては、シンポジウム司会の田中均をふくめた5人での輪読および編集委員による査読を行った。
井上由里子、田之頭一知、土田耕督各氏の論文は、編集委員による査読を行った。

a+a 美学研究
第12号

発行日　2018年3月31日

編集委員　田中 均
高安啓介
土田耕督
河口 篤
西影めぐみ
吉野裕太

編集・発行　大阪大学大学院文学研究科美学研究室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5
装丁・組版　松本久木
印刷・製本　株式会社ケーエスアイ

©2018大阪大学美学研究室
Printed in Japan
ISSN 1346-1095

『a＋a美学研究』は、美学の知をより多くの方々と共有できることを目指しています。新しい研究を紹介する学術雑誌としての機能を保ちながら、美学への理解を深めたい学生にとっても、芸術に興味のある読者にとっても、知の道標となるような特集をこれから組んでいきます。捨てられないように、1冊の本のような価値のある冊子にしてゆきます。大阪大学美学研究室は、この雑誌の編集にあたって、コミュニケーションの様態への関心から、知の内容だけでなく知の形式についても反省をめぐらし、見出された知見がいかに社会のうちに浸透していくのか、重要と思われる事柄がいかに社会のうちに共有されるのか、美学の思考をそこまで駆り立ててみたいと思います。